

2025-02-02



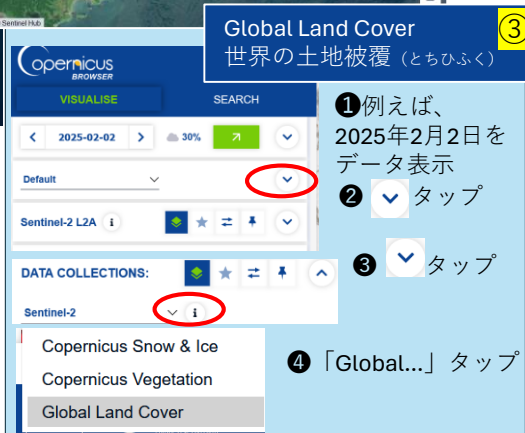
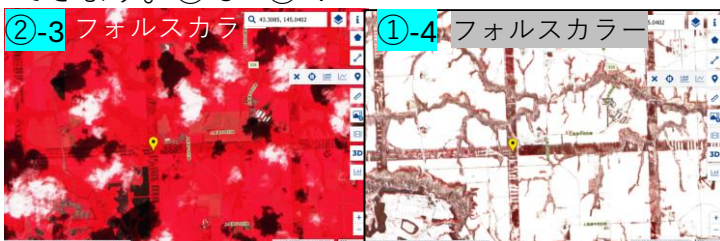
札幌管区気象台は、2月4日17:00別海町の日最深積は61cmと発表しています。2月2日にはセンチネル2Cが雪景色の根釧台地（こんせんたいち）周辺を観測していました。雪の下はどのような様子なのかなとイメージがふくらみます。① ①-2

コペルニクスブラウザは、地表面の状態を23種類に分類したレイヤーを表示できます。（分析年次不明）選択した場所のデータを考察する背景情報を多くすることができます。③ ①-3

明治時代に造林された防風林は風害による農作物の乾燥や倒伏を防ぐほか、夏には霧を消す効果、冬は風害を防いでいますが、役割は時代とともに変化しているようです、防風林の樹種も変化しています。

造林されている樹種は、冬になると葉を落とすカラマツが多いようです。1年中緑色の葉を持つトドマツや、アカエゾマツがその次に多いようです。

フォスカラーで落葉を確認してみることができます。②-3 ①-4



① 例えば、2025年2月2日をデータ表示

② タップ

③ タップ

④ 「Global...」 タップ

カラマツ（落葉針葉樹）トドマツ・アカエゾマツ（常緑針葉樹）です。①-3では、広葉樹と示されています。「世界の土地被覆」レイヤーはもっと確かめる必要がありますが、銀世界を興味深く探ることができます。

土地被覆凡例
(23種の一部分)

- 閉鎖林
- 落葉広葉樹
- 閉鎖林
- 常緑広葉樹
- 耕作地
- 人工構造物
- 草本植物

閉鎖林（へいさりん）とは

樹冠被覆率40%以上 ⇒ 閉鎖林



樹冠被覆率（じゅかんひふくりつ）

枝や葉の茂っている樹木を真上から見下ろした状態で、地表面に対する樹木の割合



疎林（そりん）

